

延岡市文化財調査報告書 第46集

市内遺跡詳細分布調査報告書

(北川・北浦地区)

2011. 3

延岡市教育委員会

正誤表

本文中に以下の誤りがありましたので、訂正してお詫び致します。

26 ページ

【誤】

【正】

714

→

7141

7147

→

7147-1

延岡市文化財調査報告書 第46集

市内遺跡詳細分布調査報告書

(北川・北浦地区)

2011. 3

延岡市教育委員会

序 文

延岡市は宮崎県の北部に位置し、近世には日本最南端の譜代藩、延岡藩の城下町として栄えました。近現代には豊富な水資源を利用した県内最大の工業集積地として栄え、現在も宮崎県北地域の教育文化・産業経済の牽引役を担っています。

近年は、国道10号延岡道路及び国道218号北方延岡道路が部分開通したのをはじめ、延岡道路は北川ICまでの工事が急ピッチに進み、国道218号高千穂日之影道路の事業開始、東九州自動車道の門川IC～日向IC間が供用開始されるなど、永年の課題であった高速道路網の整備が一気に進んでいます。また、2006（平成18）年2月には北浦町・北方町、2007年3月には北川町を編入し、いわゆる平成の大合併において九州で2番目の広い市域面積を有するようになりました。現在は東九州の基幹都市を目指し、様々な事業が計画・実行されています。また、豊富な伝承芸能や農林水産資源を活かした、新たな活気あるまちづくりも始まり、大きな変革期を迎えています。

このような状況の中、文化財保護と開発事業との調整件数が増加しています。また、遺跡詳細分布地図が未整備の北浦・北川地区での開発行為も増加しています。そこで延岡市教育委員会では、2008年から3ヵ年計画で未整備地区の詳細分布調査を実施することとなりました。本書が文化財保護への理解を深める一助として、広くご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、今回の調査にあたり宮崎県教育委員会をはじめ、地元の関係者の方々、調査に参加していただいた方々など、関係各位のご理解とご協力に深く感謝いたします。

平成23年3月

延岡市教育委員会
教育長 町 田 訓 久

例 言

1. 本書は延岡市教育委員会が平成20（2008）年度から22年度にかけて、文化庁・宮崎県教育委員会の補助を受けて実施した遺跡詳細分布調査の報告書です。
2. 本調査は主に埋蔵文化財に関する調査であり、内容は当市の北川・北浦地域を対象とする埋蔵文化財包蔵地調査カード及び遺跡詳細分布図からなります。
3. 本書の遺跡一覧に掲載された遺跡、すべて文化財保護法にいう「周知の埋蔵文化財包蔵地」で保護の対象となるものです。
4. 本書の埋蔵文化財の範囲については、それが地下に埋没しているという性質上、踏査や地上観察による遺跡の範囲確定には限界があり、おおよその範囲を示しています。また、未発見のものが多数包蔵されている可能性が十分にあるため、今後とも補正・追加が考えられることをご理解下さい。
5. 「周知の埋蔵文化財包蔵地」において土木工事等を実施しようとする場合は、文化財保護法〔昭和25（1950）年 法第214号〕の規定により、届出や通知が義務づけられています。「周知の埋蔵文化財包蔵地」及びその隣接する地域において土木工事等を実施しようとする場合は、計画段階において延岡市教育委員会文化財課（延岡市東木小路2-1 TEL0982-22-7047）または宮崎県教育委員会文化財課（宮崎市楠通東1-9-10 TEL0985-26-7250）に照会してください。なお、国及び地方公共団体等が土木工事等を実施しようとする場合は、文化庁長官に通知が義務づけられていますので、事前協議等を行ってください。
6. 「周知の埋蔵文化財包蔵地」以外において土木工事等により埋蔵文化財が発見された場合にも、前記と同様に延岡市教育委員会文化財課または宮崎県教育委員会文化財課に連絡してください。「周知の埋蔵文化財包蔵地」以外の土木工事等の場合においても、必要があれば、埋蔵文化財の所在状況を知るための予備調査（踏査・試掘調査）を受けることができます。
7. 国・県・市指定の文化財は、原則的に現状変更が禁止されています。史跡名勝天然記念物に関して、その現状を変更し、またはその保存に影響を及ぼす行為しようとするときは許可が必要となります。
8. 本書に使用している地図画像は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000を複製したものである。（承認番号 平22業復、第976号）本書に使用している地図を、さらに複製する場合には国土地理院長の承認を得なければなりません。
9. 本書及び埋蔵文化財に関するお問い合わせは、延岡市教育委員会文化財課へお願い致します。
10. 本書の編集は主に尾方があたった。

凡 例

1. 地図の遺跡番号は、第2章 遺跡地名表の番号と対応する。
2. 遺跡番号は4桁とし、北川地区は7000番台を、北浦地区は8000番台を用いる。なお、1000～6000番台は延岡地区で用いられている。(延岡市文化財調査報告書第16集『市内遺跡詳細分布調査報告書』1996年 延岡市教育委員会)
3. 赤色線や赤色記号は、遺跡(周知の埋蔵文化財)の範囲及び所在地を表示している。緑色線や緑記号は、国・県・市の指定文化財の所在地を表示している。ただし、古文書や美術品等の移動が容易である有形文化財や、無形民俗文化財は除外している。青色線や青色記号は、石塔や石塔群の所在地を示している。石塔や金釘資料については数が多いため、群として存在するもの又は周知されているもの記載するに止めている。なお、備考欄の年号等は、判読可能なもので、群内で最も古いものを記載している。
橙色矢印線は、西南戦争時のおおよその薩摩軍行軍ルートを示している。また橙色線や橙色記号は西南戦争関連地を示している。
4. 遺跡の範囲は確定的なものではなく、隣接地についても留意する必要がある。範囲内では埋蔵文化財所在の確認調査、範囲外では試掘調査が必要となる場合がある。また、遺跡範囲に含まれていない部分、特に山林等により踏査が不可能であった地区については、試掘等による埋蔵文化財の有無の確認を実施する必要がある。
5. 遺跡の範囲が不明確なものについては、遺跡番号と遺跡名を付すに止めている。
6. 遺跡名は通称・俗称があるものは、可能な限り従前の名称を用いたが、遺跡の名称等を統合整理したものがあり、従来の遺跡名称等は備考に掲載した。また新たに所在が確認されたものは、小字名を基本として遺跡名をつけた。遺跡の範囲が複数の字にまたがる場合は、中心となる字名が最も広い範囲を占める字名を用いることを基本とした。同遺跡名や同字名が存在する場合は、大字名を頭に付け区別している。
7. 遺跡名に使用した小字名や字界については、字参考図等を利用している。不明瞭な部分も多く、調査の進行により補正を考えている。
8. 延岡市北方地区の周知の埋蔵文化財包蔵地については、北方町文化財報告書第23集『町内遺跡詳細分布調査報告書』2004年 北方町教育委員会に記載されている。

目次

序文

例言

凡例

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	5
2. 調査の概要	
(1) 北川地区	6
(2) 北浦地区	6

第2章 遺跡地名表

I. 北川地区	
1. 指定文化財	9
2. 陵墓参考地	10
3. 北川湿原	10
4. 埋蔵文化財包蔵地	11
5. 六地藏輪・石塔群等	20
6. 西南戦争関連	25
II. 北浦地区	
1. 指定文化財	29
2. 埋蔵文化財包蔵地	31
3. 六地藏輪・石塔群等	36
4. 西南戦争関連	38

報告書抄録	39
-------	----

附図1 宮崎県延岡市遺跡詳細分布図(北川地区) 1:25,000

附図2 宮崎県延岡市遺跡詳細分布図(北浦地区) 1:25,000

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

延岡市は宮崎県の北部に位置する。東は太平洋に面し、美しいアス式海岸を有する日豊海岸
国定公園が広がり、北から西方にかけては祖母傾国定公園などの雄大な山並みを臨み、その山後
に源を発し、市内を流れ太平洋に注ぐ五ヶ瀬川や北川・祝子川などの清流が流れる自然豊かな環
境である。これらの河川によって形成された沖積平野に市街地や工業地帯が広がっており、古く
は城下町として栄え、現在では工業をはじめ農林水産業などの多彩な産業を有し、宮崎県北部地
域の中核都市となっている。その市域は、平成18（2006）年の北方町・北浦町の合併で市域面
積283.82km²から588.05km²と一気に広がり、更に平成19（2007）年の北川町の合併により
868.00km²となり九州で2番目の広さを有することとなった。

合併に伴い広がった市域のうち、北川町・北浦町については遺跡地図が未整備であった。当地
区は、平成11（1999）年に整備計画が決定した東九州道泉境～北川間等の大規模事業が進んでお
り、それに伴う開発事業や、需要が増大する携帯電話の無線基地局の建設等が著しく増加してい
る。当教育委員会は開発事業との調整がもたられ、当該地域の範囲・詳細など正確な情報を周
知する遺跡地図の必要性が高まった。こうした状況の中、文化財保護行政の基礎資料として遺跡
地図を作成するため、平成20（2008）年度から平成22（2010）年度までの3カ年計画で市内の
遺跡詳細分布調査を実施するに至った。

調査の組織

調査主体 延岡市教育委員会

教育長	町田 訓久
教育部長	笠江 孝一（平成20・21年度）
教育部長	甲斐 享博（平成22年度）
カルチャーゾーン担当副参事兼カルチャープラザのべおか館長兼	
文化課長	渡邊 博史（平成20・21年度）
文化課長	大島紀世子（平成22年度）
[文化振興対策監兼文化課長補佐兼文化振興係長（平成21年度）]	
[文化課主幹兼文化課長補佐兼文化振興係長（平成20年度）]	
文化課長補佐兼文化振興係長	伊東 優（平成22年度）
文化課文化財係長	赤星 清次（平成20年度）
文化課文化財係長	山田 聡（平成21・22年度）
庶務担当	文化振興係主任主事 松岡 直子
調査担当	文化財係主任主事 尾方 農一

なお調査にあたり、現地での聞き取り調査等に多くの地域の方々にご協力いただきました。ま
た、関係各機関等には多くの配慮をいただきました。本調査に携わっていただいた、全ての方
のご理解とご協力に記して感謝いたします。

2. 調査の概要

(1) 北川地区

北川地区は延岡市の北部に広がる地域である。宮崎県の最北にあたり、北は大分県と境を接する。西は日之影町と北方地区と境を接し、東は北浦地区と接し海岸とは隔たっている。279.9km²の広大な面積を有するが、その約92%は山林地帯である。北川の本流・支流、祝子川の3本の河川が北から南へと流れ、平地は河川に沿って僅かに形成され、農耕地は河川沖積扇と山麓部に開かれている。古くから交通の要所であり、古代駅伝制における長井駅が存在が知られている。近世においては、豊後領との境に番所が置かれ、現在の宮崎・大分県境の基となる梓川国境論争などが起こっている。近代に入ると西南戦争の激戦の場となり、地区の至るところにその名残をとどめている。

当地区では平成16(2004)年に『北川町史』が刊行されており、その記述を基に調査を開始した。また、同時に字名の洗い出し、現地での聞き取り調査及び踏査などを進めた。郷土史家等による遺物の採集も行われており、今回の調査でもそれを裏付ける結果となった。また、地区内には多くの石塔や石塔群が存在し、その調査も行った。西南戦争関連では、多くの郷土史家が研究を重ね、その資料も多く、その一部を今回の報告書に反映させた。

(2) 北浦地区

北浦地区は延岡市の北東部に広がる地域である。宮崎県においても最北東部にあたり、大分県佐伯市と境を接する。地区の北には津島畑山・場照山・鉢山など400～600m級の山々が連なり、海岸部に向かって急峻な傾斜面を見せている。南に面した海岸部に至ると、海岸蝕によるリアス式海岸が発達し、美観を呈するとともに、出入りの多い海岸線が天然の良港を生み出している。総面積は103.47k㎡でその約91%が山林である。地域は大きく分けると、農林業を主体とする北の三川内地区と、日向灘に面し漁業を主体とした南の海岸地区に分けられる。平地の部分は海岸部と、三川内地区の各河川に沿って形成されている。海岸地区は天然の良港を活かし、古くから漁業が盛んで現在は県内有数の養殖漁場となっている。

当地区においても平成14(2002)年に『北浦町史』が刊行されており、その記述を中心に調査を行った。字名の洗い出し、聞き取り調査を行い、踏査を行った。また、宮崎県埋蔵文化財センターによる当地区での発掘調査が行われており、調査事例が少ない当地区の歴史の解明が進んでいる。当地区にも多くの石塔・石塔群が存在し、その調査も行った。

今回の調査では、北川・北浦の両地区の全域を調査対象としたが、両地区ともにその面積に占める山林が面積が90%を超える。また、急峻な山が多く、踏査が困難な地域については聞き取りのみを実施した遺跡もある。本調査により、今回発行する遺跡分布図には新たに多くの遺跡が掲載されるが、今後とも遺跡の追加が十分考えられる。

本書は文化財保護行政の基礎資料である。また、諸開発事業の計画作成において教育委員会との事前調整が必要であり、本書が活用されることを願うものである。

第2章 遺跡地名表

I. 北川地区

1. 指定文化財
2. 陵墓参考地
3. 北川湿原
4. 埋藏文化財包蔵地
5. 六地藏幢・石塔群等
6. 西南戦争関連

1. 指定文化財

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	指定年月日	備 考
	カモシカ	国	地域を定めず	特別天然記念物	昭和30(1955)年 2月15日	
7151	祝子川のモウソウ キンメイチク竹林	国	北川町大字川内名 字祝子川	天然記念物	昭和45(1970)年 8月15日	
7007	南州翁寓居跡	県	北川町大字長井 字依野	史跡	昭和8(1933)年 12月5日	西郷隆成宿陣跡資料館
7009	依野庚申塔	市	北川町大字長井 字依野	有形文化財 建造物	平成8(1996)年 2月1日	慶長2(1597)年 読み違くなった銘に、 後世の子が加えられて いる。
7137	松葉観音寺本地蔵軸	市	北川町大字川内名 字松葉観音山	有形文化財 建造物	平成8(1996)年 2月1日	大永2(1522)年 松葉観音寺
7095	岩ノ口庚申塔	市	北川町字川内名 岩ノ口	有形文化財 建造物	平成12(2000)年 12月20日	天正19 (1591)年
7036	堂ノ元五輪塔	市	北川町大字長井 字堂ノ元	有形文化財 建造物	平成12(2000)年 12月20日	虎御前
7057	熊田川平山庚申塔群	市	北川町大字長井 字堂ノ元	有形文化財 建造物	平成17(2005)年 3月28日	延宝3 (1675) 年

2. 陵墓参考地

遺跡 番号	名 称	指 定	所 在 地	種 別	指 定 年 月 日	備 考
7008	北川陵墓参考地		北川町大字長井 字伎野	古墳	明治28(1895)年 12月4日	経塚 十代原歌

3. 北川湿原

遺跡 番号	名 称	指 定	所 在 地	種 別	時 代	備 考
7032	家田湿原		北川町大字長井 字家田・西・窟・ 槍・大門・無田	湿原		ヒメコウホネ群落等 「日本重要湿地500」 (環境省選定)
7033	川板湿原		北川町大字長井 字堂ノ元	湿原		オグラコウホネ群落等 「日本重要湿地500」 (環境省選定)

4. 埋蔵文化財包蔵地

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
7001	三足遺跡		北川町大字長井 字三足	散布地	縄文・弥生・ 近世近代	白頭寺跡
7003	古園遺跡		北川町大字長井 字古園・尾崎・下 大鶴・戸崎・仲畑	散布地	弥生・近代	旧「高畑遺跡」 平成8年宮崎県試掘 調査
7004	田ノ内遺跡		北川町大字長井 字田ノ内	散布地	縄文	中迫上山遺跡で 表採有り
7005	徳野遺跡		北川町大字長井 字徳野	散布地	縄文・弥生・ 古墳近代	松尾遺跡 ｽｸﾞ原遺跡 江良遺跡で表採有り
7006	徳野古墳		北川町大字長井 字徳野	古墳	古墳	2基の円墳有り。1基鉄 道敷設時に滅失。宅地 造成時に箱式石棺が2 基出土したといわれ る。
7018	可愛遺跡		北川町大字長井 字可愛	散布地	縄文・弥生・ 中世近世・近代	神宮寺跡 観音寺跡
7019	的野遺跡		北川町大字長井 字的野	散布地	縄文・弥生	
7020	可愛岳巨石遺跡		北川町大字長井 字可愛	散布地	弥生・近代	鳥居龍峯 「上代の日向延岡」 メンヒル等
7021	長井本村遺跡		北川町大字長井 字本村	散布地	弥生・古代・ 中世近世・近代	長井駅

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
7022	飛石遺跡		北川町大字長井 字飛石	散布地	弥生・古代・ 近代	
7023	長井坂本遺跡		北川町大字長井 字坂本	散布地	弥生・古代・ 近世近代	
7028	竪 たたら窯		北川町大字長井 字竪	たたら跡	近世・近代	
7029	竪遺跡		北川町大字長井 字竪	散布地	中世・近世	
7030	家田遺跡		北川町大字長井 字家田・藤迫	散布地	弥生・近世	
7031	野鶴遺跡		北川町大字長井 字野鶴	散布地	古墳	昭38年表探須恵器片
7034	家田城跡		北川町大字長井 字西	城跡 古墳	弥生・古墳・ 中世	家田古墳群 平21年宮崎県調査 延岡道路工事にて一部 滅失
7035	川坂寺屋敷跡		北川町大字長井 字堂ノ元	寺院跡	弥生・近世・ 近代	庵寺跡 寺屋敷と呼ばれている 石垣残
7037	川坂大門遺跡		北川町大字長井 字大門	散布地	古墳・中世・ 近世	成就寺跡(家田観音山)
7038	堂ノ元遺跡		北川町大字長井 字堂ノ元	散布地	中世・近世	

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
7039	山ノ手遺跡		北川町大字長井 字山ノ手	散布地	中世・近世・ 近代	7028 除たたら瀬関連
7040	川坂城山遺跡		北川町大字長井 字川坂	城館 散布地	旧石器・縄文 弥生・古墳・ 中世	宮崎県中近世城館跡緊急 分布調査報告書 川坂城
7041	川坂城山古墳		北川町大字長井 字川坂	古墳	古墳	
7042	畑ヶ谷遺跡		北川町大字長井 字川坂	散布地	縄文・弥生・ 古墳	
7044	仁瀬遺跡		北川町大字長井 字仁瀬	散布地	縄文・弥生・ 古墳	
7045	宮原遺跡		北川町大字長井 字宮原	散布地	縄文・弥生	
7047	竹瀬城		北川町大字長井 字竹瀬	城館	縄文・中世	宮崎県中近世城館跡緊急 分布調査報告書
7048	竹瀬遺跡		北川町大字長井 字竹瀬	散布地	縄文・中世	
7051	日ノ谷遺跡		北川町大字長井 字日ノ谷	散布地	縄文・弥生・ 中世近代	日ノ谷古戦場跡
7052	橋岸遺跡		北川町大字長井 字橋岸	散布地	縄文・中世	

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
7053	笹首遺跡		北川町大字長井 字笹首	散布地	縄文・弥生・ 中世	
7055	曾立遺跡		北川町大字川内名 字曾立山	散布地	弥生・近代	
7056	熊田遺跡		北川町大字川内名 字熊田	散布地	中世・近世・ 近代	金丸金剛院入定の地
7058	山瀬遺跡		北川町大字川内名 字山瀬	散布地	中世・近世	新熊大納言屋敷跡
7059	白石遺跡		北川町大字川内名 字白石龍水流	散布地	弥生・近世	
7060	扇形原遺跡		北川町大字川内名 字扇形原	散布地	中世・近世	
7061	惣下遺跡		北川町大字川内名 字惣下窪地・惣下 日ノ地	散布地	弥生・近世	
7062	袴崎遺跡		北川町大字川内名 字袴崎	散布地	弥生・近世	
7063	深崎遺跡		北川町大字川内名 字深崎・久ヶ畑	散布地	弥生・近世	
7065	八戸遺跡		北川町大字川内名 字前水流・池ノ 上・ムシノコシ・扇 畑・日ノ谷山・白 木ノ本	散布地	縄文・弥生・ 近世	

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
7066	橋本木船着場跡		北川町大字川内名 字八「前水流	船着場	近世・近代・ 現代	昭和13（1938）頃ま で
7067	八戸番所跡		北川町大字川内名 字八戸	番所跡	近世	日向街道最後の宿 豊後竹田領境
7071	大向遺跡		北川町大字川内名 字大向	散布地	近世・近代	下赤船着場 木材の運搬に利用。
7072	梓山回境越		北川町大字川内名 字大向	街道	近世	豊後小野市の宿に向け て、八戸と大向が登り 口。途中で合流する。
7073	下赤遺跡		北川町大字川内名 字下赤前水流・下 赤後・姫ヶ谷山	散布地	近世・近代	
7077	小原遺跡		北川町大字川内名 字小原	散布地	近世	
7078	上赤遺跡		北川町大字川内名 字上赤前水流・久 保水流	散布地	近世	
7080	黒内遺跡		北川町大字川内名 字黒内峠・黒内前 水流・上黒内・中 黒内・下黒内・竹 ノ迫	散布地	近世	
7081	長谷山遺跡		北川町大字川内名 字長谷山・尾形水 流・岩屋ヶ内谷 頭・岩屋ヶ内・畑 ヶ平	散布地	近世	
7082	仁田ノ内遺跡		北川町大字川内名 字仁田ノ内	散布地	近世	

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
7085	下祝子洞穴遺跡		北川町大字川内名 字ゴミ	洞穴	縄文	
7086	測野々遺跡		北川町大字川内名 字測野々	散布地	縄文	祝子川小学校遺跡
7087	水流遺跡		北川町大字川内名 字前水流・後水 流・奥巻谷・茶ノ 木原	散布地	縄文・近世	
7089	上祝子遺跡		北川町大字川内名 字橋場・橋場向・ 弓弦・空地・空地 向	散布地	縄文	祝子川遺跡
7090	栗ノ沖屋遺跡		北川町大字川内名 字栗ノ津屋	散布地	縄文	
7091	栗ノ沖屋洞穴遺跡		北川町大字川内名 字クーチ谷	洞穴	縄文	
7092	エラ山遺跡		北川町大字川内名 字エラ山・永代・ 永代山	散布地	近世・近代	
7094	舞見田遺跡		北川町大字川内名 字舞見山下・市ヶ 迫山	散布地	中世・近世	
7097	細見田遺跡		北川町大字川内名 字細見・細見田・ 細見山	散布地	中世・近世	
7098	六條遺跡		北川町大字川内名 字六條・六條山	散布地	中世・近世	

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
7099	深瀬前水流遺跡		北川町大字川内名 字深瀬前水流	散布地	中世・近世	
7103	鐘突殿山遺跡		北川町大字川内名 字鐘突殿山	城館	中世・近世	宮崎県中近世城館跡緊急分布調査報告書
7104	足久遺跡		北川町大字川内名 字足久	散布地	中世・近世	
7105	瀬山遺跡		北川町大字川内名 字瀬口前・瀬口後 山・白木山・駱駝落 山	散布地	中世・近世・近代	
7106	牧之城遺跡		北川町大字川内名 字田ノ上	散布地	中世	宮崎県中近世城館跡緊急分布調査報告書
7111	石原山遺跡		北川町大字川内名 字石原山・石原・ 中水流山	散布地	中世・近世	玉来山宝泉寺跡
7114	栗木遺跡		北川町大字川内名 字栗木	散布地	中世・近世	
7115	平野遺跡		北川町大字川内名 字平野	散布地	中世・近世	
7116	多良山遺跡		北川町大字川内名 字八ヶ迫・八ヶ迫 山・坂本・多良田 前水流・多良田屋 敷水流・多良田洗 水流・糸手上ノ 段・落手尾・窓ノ 瀬・山桃	散布地	中世・近世	

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
7121	惣別当遺跡		北川町大字川内名 字惣別当・惣別当 向	散布地	中世・近世	
7123	市棚遺跡		北川町大字川内名 字市棚・市棚山	散布地	中世・近世	
7124	尾平遺跡		北川町大字川内名 字尾平・井掛向山	散布地	中世・近世	
7128	鐘遺跡		北川町大字川内名 字鐘・鐘上ノ段	散布地	縄文・中世・ 近世	
7130	榎戸遺跡		北川町大字川内名 字西榎目山	散布地	縄文・弥生・ 中世	
7131	松瀬遺跡		北川町大字川内名 字松瀬・松瀬向・ 松瀬新藤・松瀬前	散布地	近世・近代	
7133	猪ノ市番所跡		北川町大字川内名 字猪ノ市	番所跡	近世	豊後領境
7135	松葉遺跡		北川町大字川内名 字松葉・松葉向	散布地	近世・近代	
7136	松葉船着場		北川町大字川内名 字松葉	船着場	近世・近代	延岡の豪商 岩見屋・ 浜津屋等の倉庫が並ん だ。東海港まで往復3 日。
7140	矢ヶ内遺跡		北川町大字川内名 字矢ヶ内前・松ノ 元・山瀬・白鹿山・ 弥勒・中ノ越地蔵前	散布地	縄文・近世・ 近代	

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
7142	柚ヶ内遺跡		北川町大字川内名 字柚ヶ内・柚ヶ内 河平山	散布地	近世・近代	
7146	陸地遺跡		北川町大字川内名 字陸地	散布地	近世・近代	
7150	下塚船着場		北川町大字川内名 字下塚	船着場	近世・近代	林産資源の買付、積出 地

5. 六地藏幢・石塔群等

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
7013	宝茶坊の墓		北川町大字長井 字依野	石碑	近世	文政8 (1825) 年
7014	依野板碑群		北川町大字長井 字依野	板碑	近世	脇に日向街道標柱有り 明和4 (1767) 年
7015	可愛板碑群		北川町大字長井 字可愛	板碑	近世	
7016	可愛神社石碑		北川町大字長井 字可愛	石碑	近世	永禄8(1565)年
7024	猿田彦大神碑		北川町大字長井 字新道	庚申塔	近世	文政9 (1826) 年
7025	長井本村石塔群		北川町大字長井 字本村	石塔	近世	延享元 (1744) 年
7026	坂本地蔵尊堂 及び庚申塔		北川町大字長井 字坂本	庚申塔	近世	明和4 (1767) 年 日向往還
7027	櫻さん		北川町大字長井 字家田	石碑	近世	少名彦名尊(スクナヒ コナノミコト) 移設され現位置
7046	宮原石塔群		北川町大字長井 字宮原	石碑	近世・近代	長袖様 宮原治水事業碑

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
7049	安藤上総介義治碑		北川町大字長井 字竹瀬	石碑	中世	竹瀬城
7050	日ノ谷古戦場供養 塔群		北川町大字長井 字日ノ谷	石塔	中世	散乱していたものを集 めている
7064	深崎天満神社庚申 塔群		北川町大字川内名 字深瀬	庚申塔群	近世	安政7 (1860) 年
7068	八戸庚申塔群		北川町大字川内名 字前水流	庚申塔群	近世	延宝3 (1675) 年
7069	八戸鳥の碑		北川町大字川内名 字前水流	石碑	近世	元禄8(1695)年 八咫鳥をモチーフにし て八戸村と刻している
7070	梓山力士の墓		北川町大字川内名 字前水流	石碑	近世	幕末の力上 梓山(岩ヶ浜)
7074	下赤八十八ヶ所		北川町大字川内名 字下赤	石塔群	近世	
7075	下赤観音菩薩 下赤了安地藏尊		北川町大字川内名 字下赤	石仏	近世	文化15(1818)年 子安地藏尊
7076	下赤庚申塔群		北川町大字川内名 字下赤	庚申塔群	近世	天和2(1682)年
7079	上赤庚申塔群		北川町大字川内名 字上赤	庚申塔群	近世	正徳4(1714)年

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
7096	舞見田庚申塔群		北川町大字川内名 字舞見田	庚申塔群	近世	天保4(1833)年
7100	深瀬石塔群		北川町大字川内名 字深瀬	石塔群	近世	天明4 (1784) 年
7101	大満神社の力石		北川町大字川内名 字深瀬	石	近世・近代	
7102	万地庚申塔群		北川町大字川内名 字万地	庚申塔群	近世	明和5 (1768) 年
7107	足久青面金剛		北川町大字川内名 字足久	庚申塔	近世	魚鳥図柄
7108	本瀬口下庚申塔群		北川町大字川内名 字瀬口	庚申塔群	近世	大日裏 明和5 (1768) 年
7109	本瀬口上庚申塔群		北川町大字川内名 字瀬口	庚申塔群	近世	元禄10 (1697) 年
7110	瀬口庚申塔群		北川町大字川内名 字瀬口	庚申塔群	近世	享保20 (1735) 年
7112	瀬口八十八ヶ所		北川町大字川内名 字瀬口	石塔群	近世	嘉永7 (1854) 年 安政元年
7113	御頭神社六地藏纏		北川町大字川内名 字瀬口	石塔	中世	佐伯次郎惟治 宝泉寺

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
7117	藤江監物大明神		北川町大字川内名 字八ヶ辺	石碑	近世	宝暦5(1755)年
7118	多良田庚申塔群		北川町大字川内名 字多良田	庚申塔群	近世	元禄13(1700)年 東光寺跡
7119	多良田血盆塔		北川町大字川内名 字多良田	石塔	近世	女人守護
7120	瀬口五輪塔		北川町大字川内名 字多良田	五輪塔	中世	
7122	惣別当天神社石塔		北川町大字川内名 字惣別当	石塔	近世	
7125	大山祇神社罔象女 命碑		北川町大字川内名 字市棚	石碑	近代	明治2 (1869) 年 川内名庄屋 長友源助 市棚水田
7126	尾平六地藏観		北川町大字川内名 字尾平	六地藏観	近世	享保6 (1721) 年
7129	短石塔群		北川町大字川内名 字館	石塔群	近世	大師堂
7132	松瀬庚申塔群		北川町大字川内名 字松瀬	庚申塔群	近世	寛政9 (1797) 年
7134	猪ノ市庚申塔		北川町大字川内名 字猪ノ市	庚申塔	近世	貞享4 (1687) 年

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
7138	松葉石仏群		北川町大字川内名 字松葉	石仏群	中世・近世	山内本山観音寺参道 阿覚上人入定塚
7139	矢ヶ内庚申塔群		北川町大字川内名 字矢ヶ内	庚申塔群	近世	天明2 (1782) 年
7143	袖ヶ内大師座像		北川町大字川内名 字袖ヶ内	石像	近代	大正9 (1920) 年
7144	陸地庚申塔群		北川町大字川内名 字陸地	庚申塔群	近代	大正9 (1920) 年
7145	陸地不動寺寿福庵 跡石塔群		北川町大字川内名 字陸地	六地藏幢 外	近世	享保3(1718)年
7148	下塚血盆塔		北川町大字川内名 字下塚	石塔	近世	宝曆6(1756)年 下塚天神境内
7149	下塚庚申塔群		北川町大字川内名 字下塚	庚申塔群	近世	宝曆11 (1761) 年

6. 西南戦争関連

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
7002	小倉處平白刃の碑		北川町大字長井 字三足	石碑	近代	
7010	桐野利秋宿营地		北川町大字長井 字依野	戦跡	近代	個人宅
7011	西郷菊次郎宿营地		北川町大字長井 字依野	戦跡	近代	個人宅
7012	中津大四郎白刃の碑		北川町大字長井 字依野	石碑	近代	
7017	野戦病院跡		北川町大字長井 字可愛	戦跡	近代	成就寺
7043	小倉處平療養の地		北川町大字長井 字川坂	戦跡	近代	個人宅
7054	西郷隆盛宿营地 (小野邸)		北川町大字長井 字笹首	戦跡	近代	個人宅
7093	西郷隆盛宿营地 (吉祥寺)		北川町大字長井 字永代	戦跡	近代	占祥寺
7127	薩軍奇兵隊坂本营地		北川町大字川内名 字庄野	戦跡	近代	

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
714	薩軍松瀬包帯所跡		北川町大字川内名 字松瀬	戦跡	近代	個人宅
7147	西南戦争陸地峠記 念碑		北川町大字川内名 字陸地	戦跡	近代	
7147 -2	西南戦争陸地峠水 飲場		北川町大字川内名 字陸地	戦跡	近代	
7083	地藏谷宿营地		北川町大字川内名 字地藏ヶ谷山	戦跡	近代	
7084	荒茂戦跡		北川町大字川内名 字荒茂	戦跡	近代	個人宅

II. 北 浦 地 区

1. 指定文化財
2. 埋藏文化財包蔵地
3. 六地藏幢・石塔群等
4. 西南戦争関連

1. 指定文化財

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	指定年月日	備 考
8081	高島のヒロウ白牛地	国	北浦町大字宮野浦	天然記念物	昭和5(1930)年 2月28日	
8072	古江のキンモクセイ	国	北浦町大字古江	天然記念物	昭和5(1930)年 4月25日	
8024	光久寺の梵鐘	市	北浦町大字三川内	有形文化財	平成元(1989)年 6月16日	寛保4(1744)年
8080	宮野浦八十八ヶ所	市	北浦町大字宮野浦	有形文化財	平成元(1989)年 6月16日	文政年間
8025	梅木の仏像	市	北浦町大字三川内	有形文化財	平成3(1991)年 6月1日	天文22(1553)年 光久寺
8025	梅木の五輪石塔群	市	北浦町大字三川内	有形文化財	平成3(1991)年 6月1日	光久寺
8071	昌雄寺の六地藏幢	市	北浦町大字古江	有形文化財	平成6(1994)年 8月16日	享祿5(1532)年
8027	市尾内石塔群	市	北浦町大字古江	有形文化財	平成6(1994)年 8月16日	天文17(1548)年
8046	佐伯次郎惟治戦没 の地	市	北浦町大字三川内 字橋ヶ谷	史跡	平成元(1989)年 6月16日	尾高智神社

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	指定年月日	備 考
8045	土々呂の観音滝	市	北浦町大字三川内	名勝	平成3(1991)年 6月1日	
8079	市振神社のヤッコソウ	市	北浦町大字市振	天然記念物	平成元(1989)年 6月16日	
8026	三川内神社の桜	市	北浦町大字三川内	天然記念物	平成8(1996)年 7月19日	

2. 埋蔵文化財包蔵地

遺跡番号	名称	指定	所在地	種別	時代	備考
8001	下塚遺跡		北川町大字三川内名 字下塚前 北浦町大字三川内 字下塚	散布地	近世・近代	
8002	上塚遺跡		北浦町大字三川内 字上塚・板ヶ平	散布地	近世	
8003	佛ノ越遺跡		北浦町大字三川内 字佛ノ越・太田・ 日知屋ヶ内	散布地	近世	
8004	小鹿倉遺跡		北浦町大字三川内 字小鹿倉	散布地	古墳	三川内小学校敷地内に 古墳があったといわれ る。
8005	彌越遺跡		北浦町大字三川内 字彌越・雑操・小 原水流	散布地	中世・近世	
8006	中水流遺跡		北浦町大字三川内 字中水流	散布地	近世	宮崎県中近世城館跡緊急 分布調査報告書
8007	梅木水流遺跡		北浦町大字三川内 字梅木水流	散布地	近世	
8008	炭原遺跡		北浦町大字三川内 字炭原	散布地	近世	
8009	向水流遺跡		北浦町大字三川内 字向水流	散布地	近世	

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
8010	大井水流遺跡		北浦町大字三川内 字大井水流・栗原 水流	散布地	近世	
8011	制遺跡		北浦町大字三川内 字長谷川内・笛ノ 水流・柚ヶ原・洞 水流・石保ヶ谷	散布地	縄文・近世	
8030	金山産遺跡		北浦町大字三川内 字金山産	散布地	中世・近世	
8031	野々水流遺跡		北浦町大字三川内 字石川内・野々水 流	散布地	中世・近世	
8032	紺屋敷遺跡		北浦町大字三川内 字紺屋敷・野々水 流	散布地	中世・近世	
8033	鉄ヶ谷遺跡		北浦町大字三川内 字鉄ヶ谷	散布地	中世・近世	
8034	木浦内遺跡		北浦町大字三川内 字木浦内・杉尾 谷・小吹	散布地	中世	宮崎県中近世城館跡緊急分布調査報告書
8035	赤木水流遺		北浦町大字三川内 字赤木水流・黒澤	散布地	中世・近世	
8036	三川内大野遺跡		北浦町大字三川内 字大野・池山	散布地	弥生・中世・ 近世	
8037	歌糸遺跡		北浦町大字三川内 字池田・黒澤・中 村・竹ノ水流	散布地	弥生・中世 近世・近代	

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
8038	木越遺跡		北浦町大字三川内 字木越・竹ノ水流	散布地	縄文・弥生	
8039	蓬原遺跡		北浦町大字三川内 字蓬原	散布地	弥生・中世・ 近世	
8040	イヤザメ遺跡		北浦町大字三川内 字イヤザメ	散布地	縄文・弥生	
8041	三川内土々呂遺跡		北浦町大字三川内 字土々呂・長畑	散布地	近世	
8050	上直海遺跡		北浦町大字市振 字上直海	散布地	中世・近世	
8051	下直海遺跡		北浦町大字市振 字下直海	散布地	近世	
8052	峠の山遺跡		北浦町大字古江 字峠ノ尻	散布地	縄文・中世・ 近世	
8053	谷光遺跡		北浦町大字古江 字谷光・鬼地水流	散布地	縄文・中世・ 近世	
8054	神子谷遺跡		北浦町大字古江 字神子谷	散布地	縄文・中世・ 近世	
8055	海舞寺遺跡		北浦町大字古江 字海舞寺	散布地	旧石器・縄文 古墳・古代 中世・近世	平成20(2008)年 宮崎県 一部調査

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
8056	此川遺跡		北浦町大字古江 字熊形・此川・今 別府竹の鼻	散布地	縄文・中世・ 近世	
8057	地下越遺跡		北浦町大字古江 字地下越・樽水	散布地	縄文・中世・ 近世	
8058	口代遺跡		北浦町大字古江 字口代	散布地	縄文・弥生 中世・近世	
8059	八郎遺跡		北浦町大字古江 字八郎	散布地	縄文・弥生・ 近世	
8060	鬼塚遺跡		北浦町大字古江 字鬼塚	散布地	縄文・弥生 中世・近世	
8061	市之串遺跡		北浦町大字古江 字市之串・滝平山	散布地	弥生・中世・近世	平成20(2008)年 宮崎県 一部調査
8062	中野内遺跡		北浦町大字古江 字中野内・中野内 奥	散布地	縄文・弥生 古墳・古代 近世	平成3(1991)年 北浦町教育委員会 平成19(2007)・ 20(2008)年 宮崎県 一部調査
8063	野地久保高遺跡		北浦町大字古江 字野地久保島	散布地	縄文・弥生 古墳・中世 近世	平成20(2008)年 宮崎県 一部調査
8064	古江本村遺跡		北浦町大字古江 字本村・中野内 口・笠木・鍛冶屋 敷・荻町島・曾 根・荻原・串地	散布地	縄文・弥生 中世・近世	宮崎県中近世城館跡緊急 分布調査報告書
8065	森ノ上遺跡		北浦町大字古江 字森ノ上・松ノ木	散布地	縄文・弥生・ 古墳	平成20(2008)年 宮崎県 一部調査

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
8066	鶴山遺跡		北浦町大字古江 字鶴山	散布地	縄文・弥生	
8067	ハイ遺跡		北浦町大字古江 字ハイ・尻浦	散布地	縄文・弥生	
8068	阿蘇東谷遺跡		北浦町大字古江 字阿蘇東谷	散布地	縄文・弥生	
8069	阿蘇西谷遺跡		北浦町大字古江 字阿蘇西谷	散布地	縄文・弥生	
8074	鍋田遺跡		北浦町大字古江 字 字和路・宮ノ 前・宮ノ元 北浦町大字市振 字鍋田	散布地	弥生・近世	
8075	餅遺跡		北浦町大字市振 字清水・餅・御前 口・中山・小高	散布地	中世・近世	
8076	日用遺跡		北浦町大字市振 字口川・古浦	散布地	弥生・近世	
8077	市振河内遺跡		北浦町大字市振 字三月河内・正月 河内・入道河内・ 上嶽	散布地	弥生・中世・ 近世	
8078	宮野浦菅田遺跡		北浦町大字宮野浦 字菅田・畑ヶ平・ 下迫	散布地	近世	

3. 六地藏・石塔群等

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
8012	上塚金比羅宮石塔群		北浦町大字三川内 字上塚	石塔群	近世	
8013	佛ノ越橋庚申塔群		北浦町大字三川内 字佛ノ越	庚申塔群	近世	
8014	佛ノ越庚申塔群		北浦町大字三川内 字佛ノ越	庚申塔群	近世	
8015	光久寺石塔群		北浦町大字三川内 字梅木	石塔群	近世	文化5(1808)年
8016	鷗尾神社横庚申塔群		北浦町大字三川内 字梅木	庚申塔群	近世	
8017	奥川内波姫橋横 庚申塔群		北浦町大字三川内 字奥川内	庚申塔群	近世	宝暦7(1757)年
8018	奥川内石塔群		北浦町大字三川内 字奥川内	石塔群	近世	
8019	奥川内庚申塔群		北浦町大字三川内 字奥川内	庚申塔群	近世	宝暦11(1761)年
8020	梅木水流新橋横 庚申塔群		北浦町大字三川内 字梅木水流	庚申塔群	近世	天明2(1782)年
8021	大井人御堂横 庚申塔群		北浦町大字三川内 字大井	庚申塔群	近世	文化10(1813)年

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
8022	大井庚申塔群		北浦町大字三川内 字大井	庚申塔群	近世	文化11(1814)年
8023	大井洞庚申塔群		北浦町大字三川内 字大井	庚申塔群	近世	
8028	市尾内地蔵院石塔 群		北浦町大字三川内 字市尾内	宝篋院塔塔身外	近世	弘治元(1555)
8029	市尾内地蔵院下 庚申塔群		北浦町大字三川内 字市尾内	庚申塔群	近世	
8042	歌糸庚申塔群		北浦町大字三川内 字歌糸	庚申塔群	近世	明和9(1772)年 安永元年
8043	休庵五輪塔		北浦町大字三川内 字歌糸	五輪塔	近世	
8044	土々呂石塔群		北浦町大字三川内 字土々呂	石塔群	近世	宝永5(1708)年
8070	地下庚申塔群		北浦町大字古江 字地下	庚申塔群	近世	
8073	下阿蘇庚申塔群		北浦町大字古江 字下阿蘇	庚申塔群	近世	天保2(1831)年
8082	宮野浦大師境内 石塔群		北浦町大字宮野浦	石塔群	近世	

4. 西南戦争関連

遺跡 番号	名 称	指定	所在地	種 別	時 代	備 考
8049	陣ヶ峰墓碑		北浦町大字三川内 字編ヶ谷	石碑	近代	俗名 中西大平
8048	津島畑山激戦地		北浦町大字三川内 字須久ノ内	戦跡	近代	
8047	佐土河内山激戦地		北浦町大字三川内 佐土河内山	戦跡	近代	

報告書抄録

ふりがな	しないいせきしょうさいふんぶちょうさほうこくしょ (きたがわ・きたうらちく)
書名	市内遺跡詳細分布調査報告書 (北川・北浦地区)
副書名	
巻次	
シリーズ名	延岡市文化財調査報告書
シリーズ番号	第46集
編集者	尾方 農一
編集機関	延岡市教育委員会
所在地	宮崎県延岡市東木小路2番地1
発行年月日	2011(平成23)年3月31日

所収遺跡名	所在地	市町村 コード	遺跡コード	北緯	東経
市内遺跡	延岡市北川町 延岡市北浦町 外	452033	7001~8082	32° 34' 56"	131° 39' 54"
調査期間		調査面積		調査原因	
20080401) 20110331		868.00km ² (市面積)		市内遺跡詳細分布調査	

延岡市文化財調査報告書 第46集
市内遺跡詳細分布調査報告書
(北川・北浦地区)

発行/平成23 (2011) 年3月31日

発行者/延岡市教育委員会
宮崎県延岡市東本小路2-1

印刷/安井株式会社
宮崎県東臼杵郡門川町加草2725

宮崎県 延岡市遺跡詳細分布図 北浦町



宮崎県
延岡市遺跡詳細分布図
北川町



